

木質文化財研究会

2014年第三回 見学・講演会

一乗谷朝倉氏遺跡資料館

http://info.pref.fukui.lg.jp/bunka/asakura_museum/

今年度第三回目の見学・講演会は、8月4日、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館にて、“一乗谷朝倉氏遺跡と中世の町並み”をテーマに開催しました。一乗谷は福井市街の東南約10km、戦国時代朝倉氏五代の城下町跡で、国の三重指定(特別史跡・特別名勝・重要文化財指定品)を受けています。



資料館主任文化財調査員の川越光洋氏、文化財調査員の藤田若菜氏、熊谷透氏の案内で、朝倉氏遺跡についての講演の後、資料館において重要文化財指定を含む朝倉氏遺跡出土品の展示解説を受けました。かつて、これらの保存処理にも

関わられた増澤文武氏はじめとする参加者はそれぞれの専門的見地から、多くの質疑応答を重ねていました。

その後、日本のポンペイ、とも称される壮大な石の城戸口を抜け、諏訪館跡庭園、湯殿跡庭園、朝倉館跡庭園、南陽寺跡庭園の特別名勝、そして現在も発掘調査中の遺跡現場をご案内いただきました。



某CM舞台となった「お父さん(白い犬)」の実家での越前そばの昼食をはさみ、復原町並みを散策しました。長年の発掘調査の成果に基づき、戦国時代当時の材料や工具、技術なども検討して復元(復原)された町並みは大変興味深く、参加者は、8月の炎天下の中、一軒一軒の町屋の中も仔細に見学し、調査員らと様々な意見交換を重ねていました。

朝から盛り沢山のスケジュールでしたが、一乗谷を渡る風は真夏もさわやかで、美しい風景と共に心に残る一日となりました。関係者の皆様にお礼申し上げます